

自由、奇抜、滑稽。人も動物もおどります。

特別展

大正の漫画家・山田みみのる



山田みみのる「動物の踊り」大正10(1921)年(雑誌『面白倶楽部』第6巻第9号表紙(部分)/東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵)

令和元年

10月20日(日)~11月24日(日)

水戸市立博物館 4階・3階展示室

11月13日(水)
茨城県民の日は
入場無料

(開館時間) 9時30分~16時45分 (休館日) 月曜日(ただし11月4日は開館)、11月5日(火)

(入場料) 一般200円(20名以上の団体は150円) 高校生以下、65歳以上、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者とその付き添い1名は無料、その他各種割引あり

(主催) 水戸市立博物館

水戸市立博物館 〒310-0062 茨城県水戸市大町3-20 Tel.029-226-6521 <http://shihaku1.hs.plala.or.jp/>

特別展

大正の漫画家・山田みのる

山田みのる(1889-1925)は、大正時代に活躍した、水戸出身の漫画家です。東京美術学校(現在の東京藝術大学)で洋画を学び、雑誌や新聞で漫画を発表していきました。奇抜な構図と自由奔放な画風で、世相を映す出来事や人々の風俗をユーモアたっぷりに表現した漫画は人気を呼び、山田みのるは漫画界で一目置かれる存在となりました。大正10(1921)年には朝日新聞社へ入社し、国内政治や国際情勢を題材とした数々の風刺漫画を発表していましたが、大正14(1925)年、惜しくも35歳でこの世を去りました。

本展では、肉筆画や原画等を中心に、これまであまり注目される機会のなかった山田みのるの画業を紹介します。さらに、岡本一平(1886-1948)をはじめ、山田と交流のあった漫画家たちの作品も紹介し、大正時代の漫画界の一部をご覧いただけます。

山田みのるの描く、生き生きとした漫画の世界をお楽しみください。



「七福神」大正時代(水戸市立博物館所蔵)



「浅草の裏」明治44(1911)年
(東京藝術大学所蔵)



「腐った魚」大正10(1921)年
(朝日新聞社 社史編修センター 所蔵)



写真「島根県招待漫画会一行」
大正10(1921)年(川崎市市民ミュージアム所蔵)
中列右から2人目が山田みのる



「関東大地震画 さすらひの人々」大正12(1923)年以降
(東京都江戸東京博物館所蔵)



「桑名」大正10(1921)年
(「東海道五十三次漫画絵巻」のうち/公益財団法人 大川美術館所蔵)



「年の暮」明治44(1911)年
(『東京パック』第7巻35号掲載/さいたま市立漫画会館所蔵)

関連
行事

講演会

定員▶60名
会場▶3階視聴覚室

《申込:10月25日(金)9時から電話受付》

11月17日(日)13時30分~15時

要申込・先着順
参加費無料

「時代と人が生み出す風刺とユーモア
日本近代漫画の展開」

【講師】漫画史研究者・元川崎市市民ミュージアム学芸室長 湯本 豪一 氏

ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説 申込不要

会場▶4階展示室内

10月26日(土)・11月4日(月・休)

11月23日(土・祝)

各日 11時~11時30分/14時30分~15時

※一般の方は入場券が必要です。

一緒に

みと歴史講座

《申込:10月16日(水)9時から電話受付》

定員▶各日60名 会場▶3階視聴覚室

要申込・先着順
参加費無料

11月3日(日・祝)13時30分~15時

11月10日(日)13時30分~15時

「石河明善と「石河明善日記」」

「石河明善日記」をよむ-嘉永5、6年の状況を中心に-

【講師】茨城地方史研究会会長 久信田 喜一 氏

【講師】茨城県立歴史館歴史資料課長 笹目 礼子 氏



お申込・お問合せは **水戸市立博物館** (Tel.029-226-6521) まで